RDI計量ユニット

SKFドサルブ

オイル又はNLGI No. 2までのグリース、吐出量0,01 ～ 0,03 cm^3/ストローク

RDI計量ユニットはは産業での組立ラインにおいて潤滑剤の保管、インジェクション、補給に対するニーズを満足するために設計したものです。 .

非常に少ない量で（0,01 ～ 0,03 cm^3）次の部品の組立に使用されます：

- 自動車のダッシュボード（コントロールレバー、ボタン）
- 家庭電器設備のロッキングシステム
- ロックシリンダー
- スキー締め具
- その他

メリット

- 非常に精度が高い計量
- 容量的計量のため、温度変化や粘度変化の影響がない
- 計量の安定性が非常に良い
- 調整することが簡単（交換式計量リング）
- 寿命が長い
- 1台のユニットはシングル、又は、マルチアウトレットの仕様が可能
- 計量は吐出口当りで調整できる
- ユニットまでの潤滑剤供給は多種の方法が可能（ドラムポンプ、ネットワーク、など）

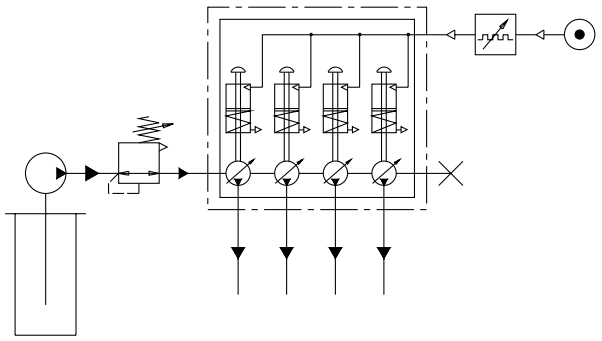
RDI計量ユニットはベースプレートに付ける空圧式マイクロポンプで構成します。

サイクル当りで吐出する潤滑剤の量はピストンストロークで決まります。吐出量は温度及び粘度の変化による影響がありません。ピストンストロークは計量リングセットで調整できます。計量リングは計量ユニットと一緒に納入します。マイクロポンプ当りのセットは3種類の計量リングになります：0.01 , 0.015 , 0.02 cm^3 /ストローク。

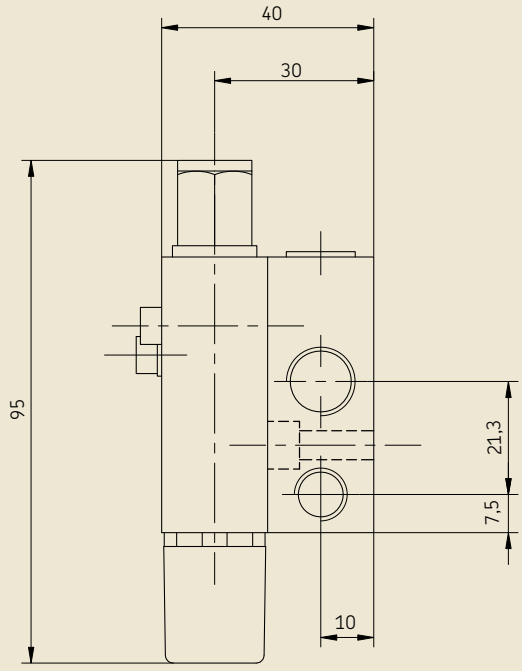
空圧式電磁弁、又は、空圧式タイマーはマイクロポンプの働き頻度を制御します。マイクロポンプの最高働き頻度は1回/2秒です。

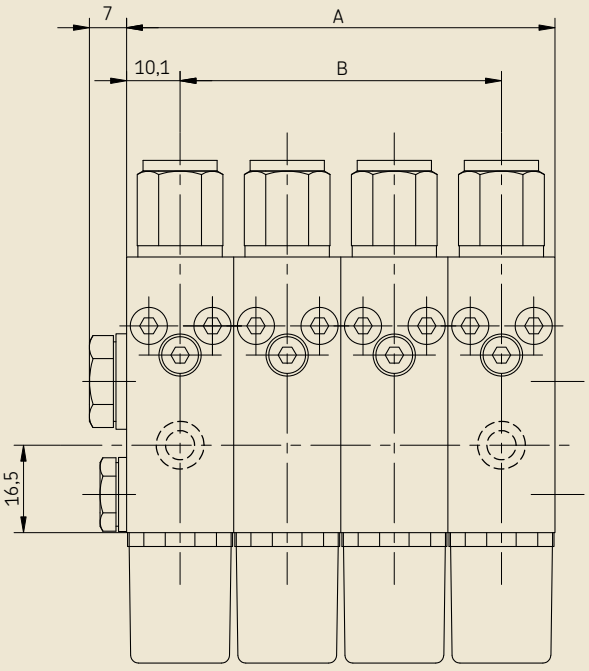
潤滑剤（グリース）は圧力で空圧式ドラムポンプ又はネットワークから計量ユニットに供給します。潤滑剤の最高インレット圧力は0.2MPaです。

作動原理



RDI計量ユニット





注文番号	吐出口数	A	B
RDI.G.01.001	1	20,2	-
RDI.G.02.001	2	40,4	20,2
RDI.G.03.001	3	60,6	40,4
RDI.G.04.001	4	80,8	60,6
RDI.G.05.001	5	101	80,8

このカタログの裏面に書いてある注意はこのカタログに載っている全ての製品に有効とします。

RDI計量ユニット*

注文番号	吐出口数
RDI.G.01.001	1
RDI.G.02.001	2
RDI.G.03.001	3
RDI.G.04.001	4
RDI.G.05.001	5

*) *RD*計量ユニットは計量リングセットと一緒に納入します。

仕様

RDI計量ユニット

エアインレット圧力 . . . . . 0.5 ～ 0.8 MPa
潤滑剤の最高インレット圧力. 0.2 MPa
働き頻度 1回/2秒
使用温度 . . . . . 15 ～ 40 °C
吐出口当りの吐出量. . . . . 0,01 ～ 0,03 cm^3
潤滑剤 . . . . . NLGI No. 2までのグリース
材質
ボディー . . . . . 黄銅
ピストン . . . . . SUS
シール . . . . . フッ化炭素(FPM)
ベースプレート . . . . . アルミ

付属品

ベースプレート付空圧式電磁弁（レールへの取付はEN50022に応じる）
注文番号 . . . . . AC-4680-E+_ _ _*
*) ご注意：電圧コードは注文番号の後ろに付けて下さい。
924 = DC 24 V , 429 = AC 115 V, 428 = AC 230 V

ベースプレート付空圧式タイマー（レールへの取付はEN50022に応じる）
注文番号 SY.9243.E

付属品の仕様

3/2空圧式電磁弁

タイプ . . . . . NC
インレット圧力P . . . . . 0.4 < P < 0.8 MPa
寿命 . . . . . $1{,}5 \times 10^7$ の作動回数
電圧・パワー . . . . . DC 24 V, 1W
AC 115 V, 2,5 VA
AC 230 V, 2,5 VA

空圧式タイマー **(SY.9243.E)**

Frequency . . . . . 3 Hz
0.6MPaでの流量 . . . . . 170 NL/min
使用圧力 . . . . . 0.2 ～ 0.8 MPa
寿命 . . . . . 10^7 の作動回数

ご注意！
グリースの使用においては配管が長すぎる、配管内径が小さすぎる場合、大きい圧損が発生して、潤滑不良に至る可能性がありますので、システムを設計する際にそのことを考慮して下さい。もっともスムーズな潤滑になるように金属チューブ又は変形の少ないチューブを使用して下さい。マイクロポンプから潤滑点までの距離はなるべく小さくして下さい。
潤滑剤にはエアが含有していないようにして下さい。

1-4201-JA 5/2013

ご注意

SKF の各製品はこのカタログ、又は、他の資料で説明した目的範囲外にて、使用しないで下さい。納入製品に取扱説明書が付いている場合、取扱説明書による指示に従うようにして下さい。

集中潤滑システムにおいては適応しない潤滑剤もあります。SKF は集中潤滑システムに対して潤滑剤の適応性を確認する為のテストサービスを提供いたします。

SKF の潤滑システム及びコンポーネントはガス、液状ガス、溶液による圧縮ガス、また、蒸気圧力が通常の気圧 (1013hPa) に対して最高許容温度の時 0.05Mpa を超える液体に対応しません。

危険性がある材料、特に EC Directive 67/548/EEC,Article 2, Par.2 による危険材料を使用する場合は、SKF からの証明書が必要です。

無断転載を禁ずる

このカタログの内容については、技術的進歩及び改良に対応するため製品の外観、仕様などは報告なしに変更することがあります。なお、カタログの作成には正確を期するために細か心の注意を払いますが、誤記誤漏による損害については責任を負いかねます。

日本エスケイエフ株式会社

潤滑ビジネスユニット

578-0903

大阪府東大阪市今米 1-15-22

Tel.: (0)72-964-3551

Fax: (0)72-964-1619

www.skf.jp/lubrication

このカタログをお渡しした担当者:

® SKF is a registered trademark of the SKF Group.

© SKF Group 2013
The contents of this publication are the copyright of the publisher and may not be reproduced (even extracts) unless prior written permission is granted. Every care has been taken to ensure the accuracy of the information contained in this publication but no liability can be accepted for any loss or damage whether direct, indirect or consequential arising out of the use of the information contained herein.